

ZEBランク目標

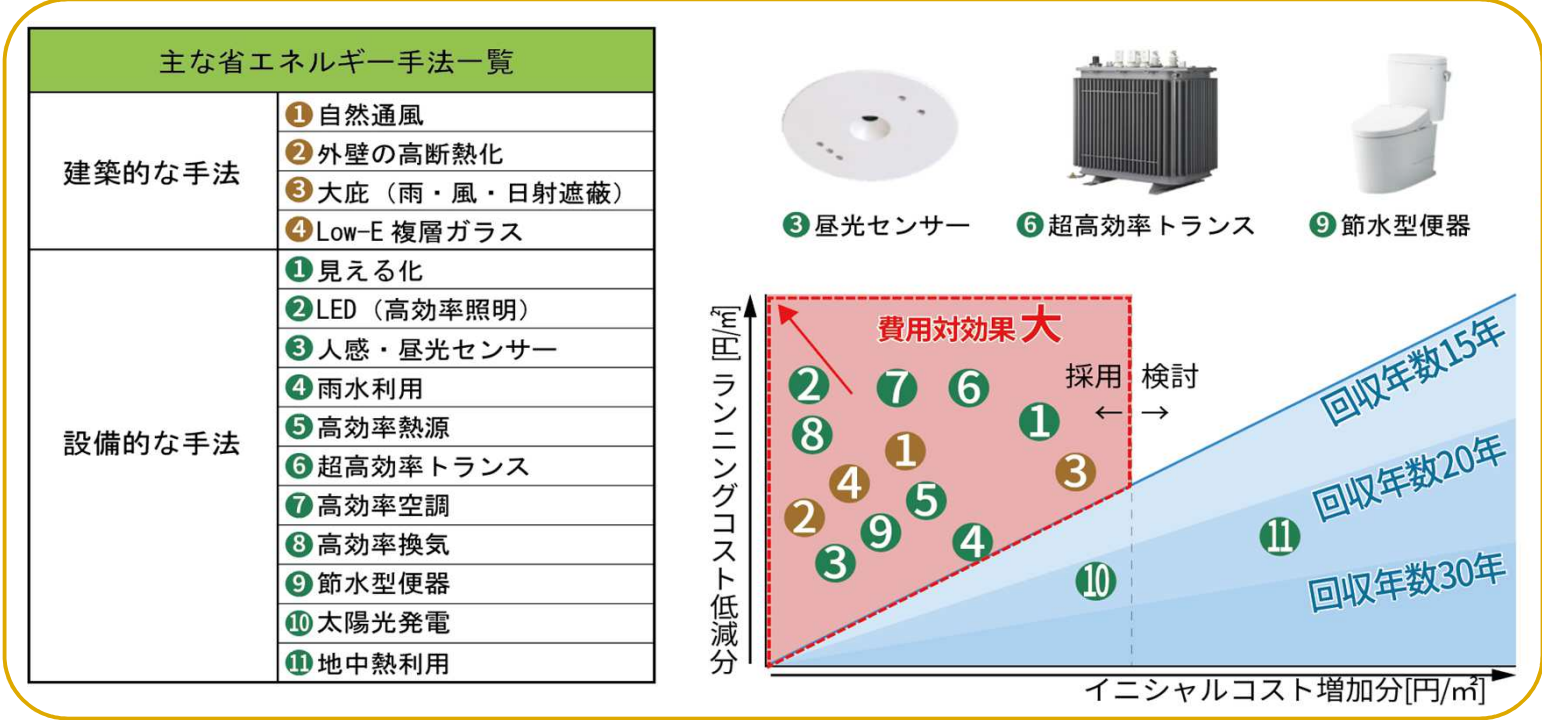
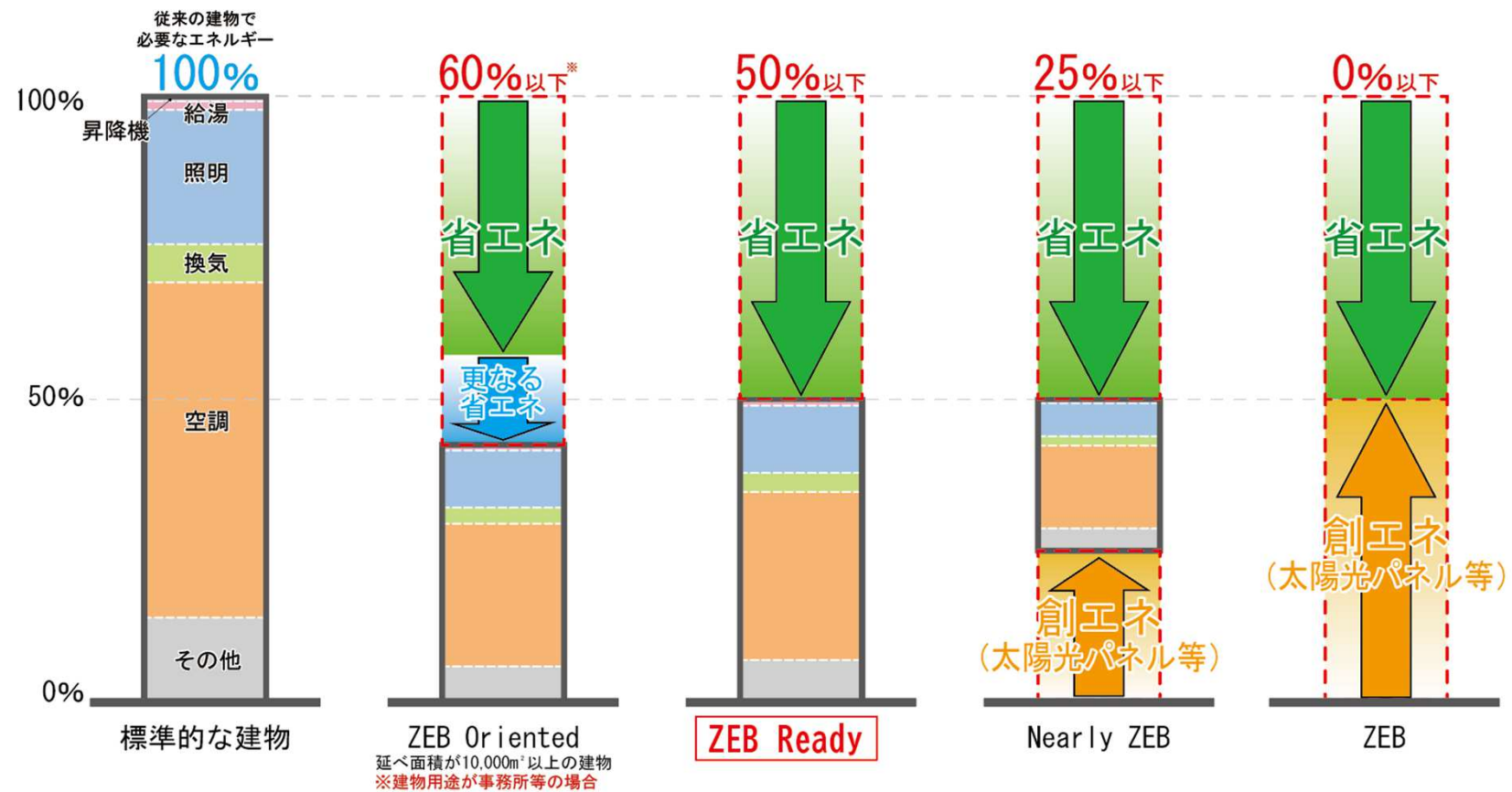
江別市は、2050年までにCO2排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しました（令和5年6月）。
新庁舎の整備においても、高い断熱性能（外皮性能）を有する外壁の採用や良好な温熱環境の確保、省エネルギーに配慮した環境配慮型庁舎とすることを目指します。
建物の一次エネルギー消費量を削減する目安としてZEBのランクが4段階に定義されています。その中で、イニシャルコストや運用による回収年数の費用対効果に鑑み、標準的な庁舎と比較して一次エネルギー消費量を50%以下に削減するZEB Readyの達成を目指します。
ZEB Ready達成及び創エネの手法については、引き続き検討します。

江別に最適な省エネ手法

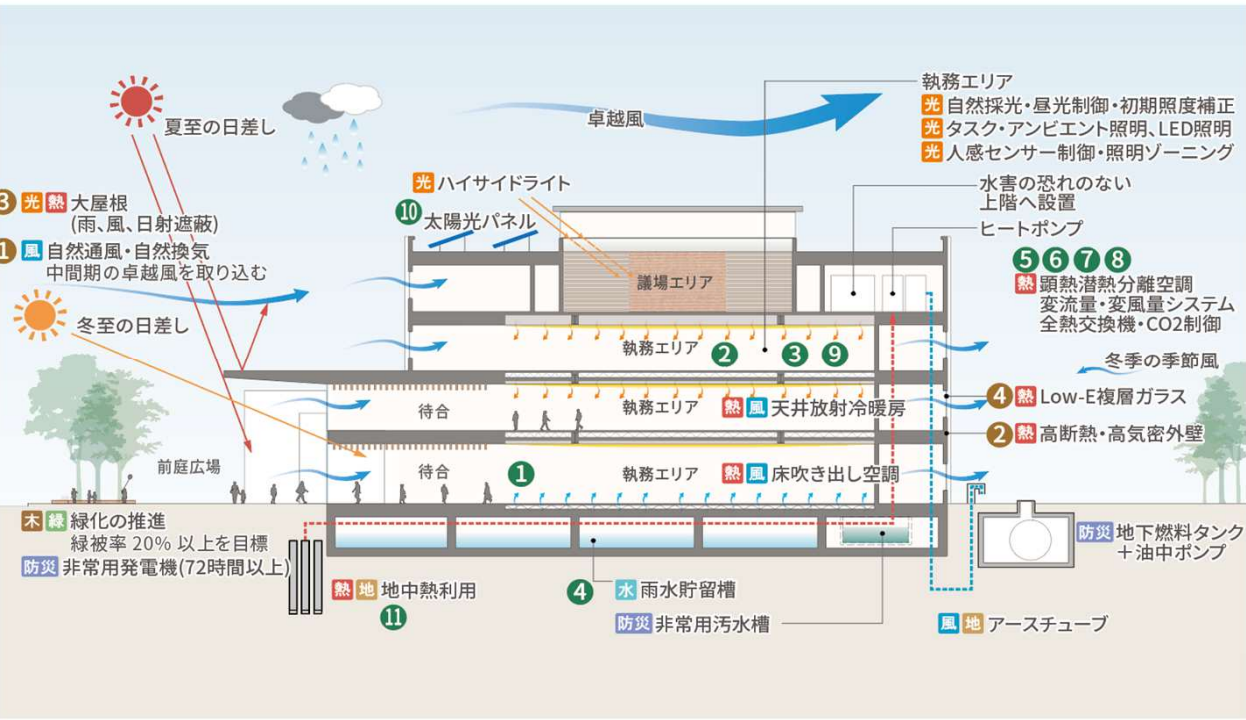
- ・北面・西面は西日の日射抑制や冬季の熱損失を考慮し、開口部を極力小さくし、冷暖房エネルギーを低減する計画とします。
- ・省エネ手法の中でも費用対効果の高い手法を優先的に採用し、イニシャルコスト・ランニングコストを削減しながらZEB Readyを実現します。

一次エネルギー消費量を50%以下に削減

- ・建物の高断熱・高気密、Low-Eガラスにより建物の熱負荷を徹底的に削減します。
- ・設備は、機器・システムの高効率化、熱負荷低減による容量適正化を図り、設計時には一次エネルギー消費量を50%以下に削減します。



省エネ手法の費用対効果における分類



環境に配慮した庁舎のイメージ